



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月1日

上場会社名 株式会社関西フードマーケット 上場取引所 東
 コード番号 9919 URL <https://www.kansai-foodmarket.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 克弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 渡邊 学 (TEL) 072-744-5701
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	93,387	2.6	2,020	292.1	1,906	331.4	1,460	968.5
2023年3月期第1四半期	90,979	—	515	—	441	—	136	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,524百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 81百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	25.41	—
2023年3月期第1四半期	2.32	—

(注) 2023年3月期第1四半期の連結経営成績は、当社、イズミヤ株式会社、株式会社阪急オアシス、株式会社関西スーパーマーケット、株式会社KSPの5社からなる連結数値であります。2022年3月期第1四半期の連結経営成績は当社と株式会社KSPの2社からなる連結数値であり、対象範囲が異なることから2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	143,718	66,513	46.3
2023年3月期	145,835	66,579	45.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 66,513百万円 2023年3月期 66,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2023年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 2円00銭
 3. 2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 2円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	2.7	4,833	162.8	4,560	201.1	2,847	261.4	49.26
通期	379,000	1.3	8,700	47.0	8,150	52.2	4,500	5.6	77.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) イズミヤ株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	63,858,804株	2023年3月期	63,858,804株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	6,715,178株	2023年3月期	6,066,658株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	57,467,891株	2023年3月期1Q	58,957,154株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「2. 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の状況	2
2. 今後の見通し	2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(企業結合等関係)	7

1. 経営成績の状況

▶連結経営成績

当社の連結経営成績は、売上高93,387百万円、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した従前の基準での売上高に相当する総額売上高は96,926百万円、営業利益2,020百万円、経常利益1,906百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,460百万円となりました。

▶会社別の経営成績

会社別の経営成績については、収益認識に関する会計基準等による影響を除外した数値を記載しております。

4～6月は値上げの影響による客単価上昇トレンドの継続と前年はコロナ感染者減少に伴う内食需要の減退により売上が苦戦した反動もあり、既存店売上は前年を上回って推移しました。

イズミヤ株式会社と株式会社阪急オアシスは2023年4月に合併し、イズミヤ・阪急オアシス株式会社となりました。組織・人事の一元化、営業本部機能の効率化や屋号を超えたエリア単位での店舗運営等の取り組みを推進しています。

イズミヤ・阪急オアシス株式会社の既存店売上高前年同期比は103.5%（客数99.8%、客単価103.7%）となりました。

構造改革途上であるイズミヤと阪急オアシスでは、チェーンオペレーション徹底による生産性の改善、商圈特性に応じたMD再構築による売上増加と粗利率改善、及び更なる仕入統合による粗利率改善、経費の見直し等の施策に取り組みました。

販売費及び一般管理費については、引き続き要員体制の最適化に取り組み、人件費が計画以上の削減となり、前年実績、計画ともに下回る等会社の一つとなったことによるマネジメント・オペレーション面での効果が出始めております。

以上の結果、イズミヤ・阪急オアシス株式会社は総額売上高64,309百万円（前期比102.5%）、営業利益1,253百万円（前期比579.1%）となりました。

株式会社関西スーパーマーケットでは、「健康経営」「生産性の向上」「教育」を3つの柱に掲げ、7連休の取得推進や禁煙サポートの実施、電子棚札導入店舗拡大に向けた実証実験、経営幹部と情報共有及び意思統一を図ることを目的とした「店長・副店長・チーフ研修会」の実施等に取り組みました。店舗の活性化につきましては、お客様目線の売場づくり、従業員目線の職場づくりを目的に、1日休業によってクリンリネスや衛生管理、売場の適正化を行う「one day リフレッシュ」を3店舗で実施いたしました。

既存店売上高前年同期比は103.7%（客数99.0%、客単価104.7%）となりました。改装店舗が堅調で計画を上回って推移しました。

販売費及び一般管理費については、光熱費が増加した一方で、広告宣伝費を中心にコストコントロールに取り組み、前年実績、計画ともに下回りました。

以上の結果、総額売上高32,619百万円（前期比102.7%）、営業利益862百万円（前期比187.9%）となりました。

なお、株式会社関西スーパーマーケットの経営成績は株式会社関西スーパーマーケットと株式会社K S Pとの連結数値です。また、連結上の総額売上高及び営業利益は、上記に株式会社関西フードマーケットの販売費及び一般管理費並びに内部取引消去等の連結修正を加えた結果です。

2. 今後の見通し

当第1四半期の連結業績は概ね予想通り推移しており、第2四半期累計及び通期の予想については、2023年5月10日に公表しました連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,480	10,396
売掛金	13,071	10,884
商品及び製品	6,997	7,107
原材料及び貯蔵品	123	140
短期貸付金	1,325	1,928
未収入金	6,090	5,609
その他	1,729	1,902
貸倒引当金	△186	△232
流動資産合計	39,632	37,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,136	31,594
機械装置及び運搬具（純額）	1,091	1,107
土地	42,830	42,830
建設仮勘定	—	0
その他（純額）	3,683	3,563
有形固定資産合計	78,742	79,096
無形固定資産		
のれん	1,690	1,563
その他	1,476	1,425
無形固定資産合計	3,167	2,989
投資その他の資産		
投資有価証券	1,226	1,337
長期貸付金	2,981	2,938
差入保証金	12,587	12,174
退職給付に係る資産	834	862
繰延税金資産	6,117	6,048
その他	550	539
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	24,293	23,896
固定資産合計	106,202	105,982
資産合計	145,835	143,718

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,154	22,614
短期借入金	9,781	9,846
1年内返済予定の長期借入金	136	136
未払金	6,429	5,684
リース債務	822	781
未払法人税等	741	120
前受金	1,516	2,114
賞与引当金	1,183	1,120
人事制度改編費用引当金	682	142
店舗等閉鎖損失引当金	45	—
その他	10,925	10,848
流動負債合計	55,418	53,409
固定負債		
長期借入金	972	956
リース債務	9,546	9,363
繰延税金負債	2,699	2,954
役員退職慰労引当金	85	70
長期預り保証金	3,828	3,828
退職給付に係る負債	4,246	4,206
資産除去債務	2,193	2,198
その他	264	216
固定負債合計	23,837	23,795
負債合計	79,256	77,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	63,373	62,795
利益剰余金	12,628	14,088
自己株式	△8,973	△9,985
株主資本合計	67,127	66,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	115
土地再評価差額金	△479	△479
退職給付に係る調整累計額	△107	△120
その他の包括利益累計額合計	△548	△484
純資産合計	66,579	66,513
負債純資産合計	145,835	143,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	90,979	93,387
売上原価	63,953	64,387
売上総利益	27,025	29,000
販売費及び一般管理費	26,510	26,979
営業利益	515	2,020
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	12	13
リサイクル材売却益	16	19
工事負担金収入	34	—
その他	52	56
営業外収益合計	123	95
営業外費用		
支払利息	82	78
グループ運営負担金	95	98
その他	18	33
営業外費用合計	196	209
経常利益	441	1,906
特別損失		
固定資産除売却損	17	7
特別損失合計	17	7
税金等調整前四半期純利益	424	1,898
法人税、住民税及び事業税	185	141
法人税等調整額	102	296
法人税等合計	287	437
四半期純利益	136	1,460
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	136	1,460

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	136	1,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	76
退職給付に係る調整額	△7	△12
その他の包括利益合計	△54	63
四半期包括利益	81	1,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81	1,524
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

連結子会社間の吸収合併

当社は、2022年11月1日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社阪急オアシスを存続会社、同じく当社の連結子会社であるイズミヤ株式会社を消滅会社とする吸収合併を行うことを決議し、2023年4月1日付で吸収合併及び存続会社の商号変更を行いました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業の名称	株式会社阪急オアシス
事業の内容	スーパーマーケットの運営
被結合企業の名称	イズミヤ株式会社
事業の内容	スーパーマーケットの運営

(2) 企業結合日

2023年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社阪急オアシスを存続会社、イズミヤ株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

イズミヤ・阪急オアシス株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社阪急オアシス及びイズミヤ株式会社は、従来から、お客様起点で店舗フォーマットを見直し、オペレーションの再構築を実現するため、事業構造改革に取り組んでおります。

この度、更なる経営の意思決定の迅速化、事業基盤の強化を図るため、両社を合併することといたしました。2023年にはシステム統合も予定しており、現在取り組み途上の商品・業務フロー等においてもより効率的な取り組みを進め、人的投資とともに生産性を高め、成長への礎を固めてまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。